～安心は冷蔵庫から～ やくも安心キットのご案内

やくも安心キットは、自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶ「もしも」のときの安心・安全を確保する取り組みで、希望する方に無料で配付しています。

やくも安心キットとは

救急時に必要な持病、服薬内容などの医療情報や健康保険証の写しなどを専用の容器に入れて自宅の冷蔵庫に保管します。万が一、救急車を呼んだときに本人が病状などを説明できない場合、救急隊員が医療情報を活用して迅速な救急活動に役立てるとともに、緊急連絡先の情報で、親族などにいち早く連絡がとれます。

配付対象者

①65歳以上の方のみの世帯
②障がいのある方のみの世帯
③65歳以上の方と障がいのある方のみの世帯
④健康に不安を抱えている方（同居家族はいるが日中は一人になる方など）

申請窓口等

・保健福祉課高齢者福祉係（シルバープラザ内）
・住民生活課（窓口5番）
・熊石総合支所住民サービス課
・落部支所

●持参するもの

①申請者の印鑑（代理申請もできます）
②65歳以上の方は、生年月日の確認できるもの。障がいのある方は、障害者手帳

※キットの中に入れる健康保険証、診察券、薬剤情報提供書、お薬手帳をお持ちになれば、写しをとってお渡しします。

町内会等が取り組む場合

町内会が、地域の町民の申請をまとめて行う場合など、一度に複数の代理申請をし、責任を持って対象者にキットの配付や説明、救急情報用紙の確認および設置などを行う場合は、必要な数のキットを事前に貸付します。

●なんで冷蔵庫？

かけつけた救急隊員がすぐにキットを探し出す必要があります。そのための最適な場所が冷蔵庫です。ほとんどのお宅で冷蔵庫は台所にあるので、キットがどこにあるのかすぐにわかります。

●情報は随時更新を

キットに保管する救急情報用紙や保険証の写しなどは、いつも最新の情報に修正し、または取り替えてください。古い情報のままだと、適切な処置を受けることができない場合があります。

正しい情報は、迅速な救急活動につながりますので、情報が古くならないよう、随時更新して、もしもの時に備えましょう。

●説明に伺います

町内会や老人クラブをはじめ、各団体の会合等がありましたら、説明にお伺いしますので、お気軽にお呼びください。

（説明時間15分～30分程度）

【問い合わせ先】
・保健福祉課高齢者福祉係（シルバープラザ内）
☎0137―64―2111
・熊石総合支所住民サービス課

「八雲町くらしの便利帳」が全世帯に配布されます

町の行政サービスなどの情報を掲載した「八雲町くらしの便利帳」が発刊されました。

各世帯には、10月29日より郵便受けに直接投函され、11月末までに配布を終える予定となっています。

発刊にあたっては、岩村町長より「今回の冊子により、町民の皆さんが八雲町の魅力を再発見するきっかけに繋がって欲しい。また、協力していただいた町内企業や㈱サイネックス社の皆さんに感謝します」と挨拶されました。

ご質問等は、企画振興課協働推進係までご連絡ください。

三和シャッター工業㈱と協定 災害時における応急対策に関する協定締結

10月7日、八雲町と三和シャッター工業㈱で、災害時における応急対策に関する協定が締結されました。

この協定は、町内で地震や風水害により災害が発生した場合に、町有の避難所や学校などのシャッターやドアの点検や修理、応急対策活動を行うことを目的としています。

また、締結式では三和シャッター工業㈱より、防火扉が開かなくなった場合の対処法などを指導したいとの提案を受け、町では、災害時の的確な救出活動に繋げるよう消防署員を対象に講習会を行う予定となっています。